

平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	307		
部局名	未来まちづくり部	所属名	まちづくり計画課
事務事業名	00759 都市景観形成推進事業	所属長	坂本 和好
		記入者	井上 正道

<1. 基本事項>

総合計画の位置付け	区分	コード	名称	根拠法令等	景観法・古都保存法・都市計画法（風致地区）等
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	03	悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します		
	施策	02	湖都にふさわしい景観づくり		
	視点	01	次代に引き継ぐ景観づくり		
	重事	01	都市の発展と調和した景観形成	関連する個別計画	大津市景観計画、古都大津の風格ある景観をつくる基本計画

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称
	00760	屋外広告物景観推進事業	1303	まちづくり計画課
	01900	都市景観施策促進事業	1303	まちづくり計画課

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	都市景観形成推進事業費	

事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 市民への景観啓発活動として、景観絵画展やまちあるきイベントの開催、景観に関する内容のHPへの掲載等を行う。 古都大津の美しく風格ある景観づくりを推進するため、景観法や古都保存法等の法令による規制や誘導を行うとともに景観審議会を開催し、その意見を景観施策に反映させる。
-------	--

運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他（ ）
------	--

<2. 事業分析> PLAN

目的 (何のために)	良好な景観の保全と新たな都市景観の創造を図るため
対象 (何又は誰を)	豊かな自然的景観・風格ある歴史的景観及び自然・歴史と調和した都市景観を創出する
手段 (どのようなやり方で)	市民向けの景観絵画展による良好な景観形成意識の醸成とともに、景観法や古都保存法等の法令に基づく規制誘導により古都大津の美しく風格ある景観づくりを推進する
成果 (どのような状態にするのか)	都市の魅力の向上と、まちに対する市民の愛着が育まれることになる

<3. 経費> DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備考
直接経費 A		1,210	1,966	1,640	1,560	0	
人件費 B		10,236	10,980	10,226	10,226	10,226	
事業費合計 A+B		11,446	12,946	11,866	11,786	10,226	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	11,446	12,946	11,866	11,786	10,226	H2 8 臨時職員増員（育休代替）
職員数(人)		1.90	1.80	1.40	1.40	1.40	
職員数の内訳	正規	1.00	1.20	1.20	1.20	1.20	
	嘱託	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.50	0.60	0.20	0.20	0.20	

<4. 指標> DO

		指標名	単位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	景観計画区域内行為届出又は事前協議件数	件	目標	200	200	200	200	200
				実績	201	220	203	-	-
景観法に定める景観計画区域内行為の届出又は事前協議の件数									
活動指標	2	市民啓発事業等の開催数	回	目標	2	2	2	2	2
				実績	2	3	3	-	-
市民啓発事業等の開催数									
成果指標	1	適合通知率	%	目標	90	90	90	90	90
				実績	99.5	99.9	99	-	-
景観計画の指導の結果、適合通知を行った届出件数に対する割合									
成果指標	2	景観絵画展への作品出展数	人	目標	300	300	300	300	300
				実績	433	383	468	-	-
市民啓発事業である景観絵画展への作品出展数									

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	市民の景観保全や景観形成にかかる意識については、啓発活動の継続により序所に浸透しつつあるものと考えられるが、新たな景観形成基準の導入については時間を要する。	
これまでの見直しや改善等の経過	平成23年度に一部地域で新たな高度規制を実施。古都大津の景観形成においては、市民との協働による取り組みが最も重要であることから、啓発活動や協働による景観ルールづくりを基本とした施策を推進していく。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	景観保全や景観形成には市民の理解が必要であり、市民との協働による取り組みは必要である。また、法令や条例に基づく規制誘導、市民への啓発は市が担うべき役割である。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	景観法に基づく届出については、目標値を上回る適合通知率の継続ができています。また、景観絵画展も目標を大きく上回っており、一定の成果は上がっている。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	市民の景観保全、形成に対する意識の醸成には時間を要するが、限られた予算の中でより効果的な啓発事業の展開に努めている。
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	景観まちづくり施策は、長期的な視点と継続的な啓発活動により達成されるものである。よって、当該事業の継続は、将来に引き継ぐ古都大津の景観保全・形成に貢献しているものとする。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	法令に基づく適正な規制誘導を継続するとともに、より効果的な市民への啓発活動の実施を目指す。また、地域住民と協働による景観ルールづくりを進める。
部局長コメント	景観法に基づく規制誘導や啓発活動の継続的な取り組みにより、古都大津の良好な景観づくりを進めているところである。今後は、景観形成について、効果的な啓発事業を実施し、市民理解を深めていく。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標達成率	指標1	110.55 %	111.00 %	110.00 %
	指標2	144.33 %	127.66 %	156.00 %
成果増減率	指標1	- %	+0.40 %	-0.90 %
	指標2	- %	-11.54 %	+22.19 %
活動単位コスト	指標1	56 千円	58 千円	58 千円
	指標2	5,723 千円	4,315 千円	3,955 千円
成果単位コスト	指標1	115 千円	129 千円	119 千円
	指標2	26 千円	33 千円	25 千円
コスト増減率		- %	+18.73 %	-14.49 %

平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	308				
部局名	未来まちづくり部	所属名	まちづくり計画課	所属長	坂本 和好
事務事業名	01900	都市景観施策促進事業	記入者	井上 正道	

<1. 基本事項>

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根拠法令等	景観法、古都天津の風格ある景観をつくる基本条例 大津市景観計画
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	03	悠久の歴史と文化を大切に、次代に継承します		
	施策	02	湖都にふさわしい景観づくり		
	視点	01	次代に引き継ぐ景観づくり		
	重事	01	都市の発展と調和した景観形成	関連する個別計画	

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称
	00759	都市景観形成推進事業	1303	まちづくり計画課
	00760	屋外広告物景観推進事業	1303	まちづくり計画課

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	都市景観施策促進事業費	

事業の概要
景観づくり重点推進地区である堅田・坂本地区において歴史資源を活かしたまちなみ形成のルールづくりに対する地域住民への活動支援を行う。また、都市機能と景観保全が調和したまちづくりを推進するため、「近江新八景ルール」に基づき、都心地区における良好な景観形成に向けた方針を検討する。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

<2. 事業分析> PLAN

目的 (何のために)	県都としての都市機能と、古都としての景観保全とが調和したまちづくり促進のため
対象 (何又は誰を)	本市の地域性豊かなまちなみや、自然的・歴史的環境と調和したまちなみ景観を保全し形成する
手段 (どのようなやり方で)	景観づくり重点推進地区（堅田・坂本地区）におけるまちづくり活動支援の展開、及び都心地区における良好な景観形成の手法として都心景観路の路線ごとのルールづくりを、地域住民と協働で取り組む
成果 (どのような状態にするのか)	古都天津にふさわしい風格あるまちなみが形成される

<3. 経費> DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		4,790	2,387	2,616	5,585	0	
人件費 B		13,389	11,640	13,506	15,556	15,556	
事業費合計 A+B		18,179	14,027	16,122	21,141	15,556	
事業費の内訳	国	423	958	599	860	0	H28より坂本地区修景補助
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	17,756	13,069	15,523	20,281	15,556	
職員数(人)		2.10	1.65	1.80	2.05	2.05	
職員数の内訳	正規	1.50	1.35	1.60	1.85	1.85	
	嘱託	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.50	0.30	0.20	0.20	0.20	

<4. 指標> DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	地域との協議回数	回	目標	8	8	8	8	8
				実績	15	9	9	-	-
	景観づくり重点推進地区での地域住民との協議回数								
	2			目標					
			実績						
成果指標	1	地区計画・景観協定等の計画を進める地域数	地域	目標	2	2	2	2	2
				実績	2	2	2	-	-
	地区計画の制定及び景観協定の締結等の計画を進める地域数								
	2	まちなみ整備に係る改修工事補助件数	件	目標	3	7	4	4	4
実績				2	2	2	-	-	
平成23年度より実施									

平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	309		
部局名	未来まちづくり部	所属名	まちづくり計画課
事務事業名	00760 屋外広告物景観推進事業	所属長	坂本 和好
		記入者	井上 正道

<1. 基本事項>

総合計画の位置付け	区分	コード	名称	根拠法令等	天津市屋外広告物条例、屋外広告物法等
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人々が集うまちを創り		
	政策	03	悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します	関連する個別計画	天津市景観計画
	施策	02	湖都にふさわしい景観づくり		
	視点	01	次代に引き継ぐ景観づくり		
重事	02	独自性のある屋外広告物施策の推進			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称
	00759	都市景観形成推進事業	1303	まちづくり計画課
	01900	都市景観施策促進事業	1303	まちづくり計画課

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	屋外広告物景観推進事業費	

事業の概要
 除却ボランティア団体「天津まちなかスッキリ土隊」の活動など、市民協働による取り組みを行うことで、はり紙等の簡易な違反屋外広告物の減少に努めていくとともに、専任職員による、未申請や基準違反の屋外広告物に対する是正指導等を積極的かつ継続的に行い、違反広告物対策を推進している。また、景観保全型広告整備地区の指定の検討を行い、良好な景観の保全に努める。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

<2. 事業分析> PLAN

目的 (何のために)	歴史や自然と調和した都市景観形成と良好な景観保全のため
対象 (何又は誰を)	屋外広告物及び屋外広告業者並びに一般市民を対象
手段 (どのようなやり方で)	天津市屋外広告物条例、屋外広告物ガイドラインに基づく規制誘導、ならびに市民・事業者・行政の三者協働による違反広告物対策の展開。また良好な景観を持つ地域を景観保全型広告整備地区の指定の検討を行う
成果 (どのような状態にするのか)	未申請及び許可基準違反など違反広告物の減少により、良好な景観保全を形成する

<3. 経費> DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備考
直接経費 A		3,879	2,989	2,539	9,379	0	
人件費 B		26,453	16,190	19,146	21,196	21,196	
事業費合計 A+B		30,332	19,179	21,685	30,575	21,196	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	11,274	0	0	573	0	
	一般財源	19,058	19,179	21,685	30,002	21,196	
職員数(人)		6.25	4.65	5.00	5.25	5.25	
職員数の内訳	正規	1.65	0.45	0.80	1.05	1.05	
	嘱託	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	
	臨時	0.60	0.20	0.20	0.20	0.20	

<4. 指標> DO

		指標名	単位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	屋外広告物許可物件数	件	目標	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
		実績		3,527	3,466	3,083	-	-	
	天津市屋外広告物条例に基づく屋外広告物の許可に係る物件数								
2	違反広告物に対する指導物件	件	目標	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績	361	117	326	-	-	
	許可申請において是正指導した件数及び未申請の違反広告物に対して指導した件数								
1	違反広告物除却物件数	件	目標	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	500
			実績	362	503	309	-	-	
	簡易除却制度を活用した除却件数(簡易除却物件は、電柱に貼ってある、違法なはり紙・はり札等)								
2	違反屋外広告物除却ボランティア登録者数	人	目標	400	400	400	400	400	400
			実績	377	400	390	-	-	
除却ボランティア「天津スッキリ土隊」の登録者数									

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	市民との協働による積極的な取り組みにより、違反広告物の「はり紙」は減少している。しかし、依然として未申請物件が多数存在し、基準違反の広告物も多数存在するなどの課題を抱えている。		
これまでの見直しや改善等の経過	違反広告物対策については、職員による指導や除却で実施するほか、市民ボランティア団体組織との協働による違反広告物の除却を実施している。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	当該事業の主たる業務は、法令等に基づく屋外広告物の許可及び屋外広告業の登録といった許認可であり、市における実施が必要なことから事業主体となっているが、市全体での違反広告物の現状把握が十分ではない。よって屋外広告物実態調査業務を実施し違反広告物の現状把握を行うとともに、職員による指導に努める。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	ボランティア登録者数は、成果目標に若干達していないが、「はり紙」の簡易除却はボランティアの方により継続して実施されている。市全体での違反広告物の現状把握を行うが、対象地区としては、違反広告物が多数存在する可能性が高い地区や観光地周辺における地区を中心に、違反広告物実態調査を行う。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	市民ボランティア団体の活動を支援し、市民との協働により違反広告物対策を行うことにより、市民の景観に関する意識啓発を行っている。また、専門嘱託職員の適切な事前指導により、事業者の自主的な改善を働きかけ、屋外広告物の規制誘導の効率的な実施に努めている。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input type="checkbox"/> A. 貢献している <input checked="" type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	屋外広告物とは、景観を構成する重要な要因であることから、違反広告物除却ボランティア団体と専任嘱託職員のパトロールによる継続的な違反広告物対策が、古都大津にふさわしい景観づくりに貢献している。今後は、市全体での現状把握を行うとともに、違反広告物対策に従事していく。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了() <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	屋外広告物に対する適切な事前指導や、市民ボランティア団体との協議による違反広告物対策は継続して行う。今後は市全体での違反物件の調査を実施し、違反広告物対策に努める。
部局長コメント	屋外広告物の適正な維持管理は、専任嘱託職員による是正指導や簡易除却及び除却ボランティア団体との協働、地道な対策により、その効果が市民に浸透してきている。引き続き、こうした活動を継続する。今後は、市全体での違反物件を把握すべく、観光地周辺の幹線道路等における屋外広告物実態調査を計画的に実施していく。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標達成率	指標1	276.24 %	198.80 %	323.62 %
	指標2	94.25 %	100.00 %	97.50 %
成果増減率	指標1	- %	-38.95 %	+38.56 %
	指標2	- %	+6.10 %	-2.50 %
活動単位コスト	指標1	8 千円	5 千円	7 千円
	指標2	84 千円	163 千円	66 千円
成果単位コスト	指標1	83 千円	38 千円	70 千円
	指標2	80 千円	47 千円	55 千円
コスト増減率		- %	+7.04 %	-34.04 %

平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	310		
部局名	未来まちづくり部	所属名	まちづくり計画課
所属長	坂本 和好		記入者
事務事業名	02394 歴史的資源を活かしたまちづくり推進事業	所属長	井上 正道

<1. 基本事項>

総合計画の位置付け	区分	コード	名称	根拠法令等	地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人々が集うまちを創り		
	政策	03	悠久の歴史と文化を大切に、次代に継承します	関連する個別計画	都市計画マスタープラン、歴史文化基本構想
	施策	02	湖都にふさわしい景観づくり		
	視点	01	次代に引き継ぐ景観づくり		
重事	04	歴史と文化を活かしたまちづくりの推進事業			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	歴史的資源を活かしたまちづくり推進事業費	
事業の概要	都市計画マスタープランのまちづくりの目標に掲げている、古都大津の自然、歴史、文化を生かした魅力あふれるまちづくりの実現、及び良好な市街地の環境としての歴史的風致を後世に継承するため、大津市歴史的風致維持向上計画を策定する。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()				

<2. 事業分析> PLAN

目的 (何のために)	東海道沿道の地域において、賑わいの創出や地域の活性化を図れる市全域を対象に歴史的風致の維持向上を図ることを目的に、歴史的風致維持向上計画を策定する
対象 (何又は誰を)	街道になごりをとどめる地域を含む市全域において、活性化に向け活動をされている方々
手段 (どのようなやり方で)	まちづくりへの組織の立ち上げを支援 市全域における歴史まちづくりに寄与する団体への意見聴取を実施
成果 (どのような状態にするのか)	地域住民主体による、まちづくり整備方針が策定されるようによる市全域の歴史的風致の維持及び向上が図られている

<3. 経費> DO

	平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備考
直接経費 A	2,383	2,194	338	16,163	0	
人件費 B	8,100	5,330	6,314	6,560	6,560	
事業費合計 A+B	10,483	7,524	6,652	22,723	6,560	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	一般財源	10,483	7,524	6,652	22,723	6,560
職員数(人)	1.00	0.65	0.77	0.80	0.80	
職員数の内訳	正規	1.00	0.65	0.77	0.80	0.80
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

<4. 指標> DO

	指標名	単位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1 市が支援するまちづくり活動	回	目標	2	0	0	0	0	
			実績	1	0	0	-	-	
	歴史的資源の活用・組織づくり検討会議の開催回数・歴史的資源の掘り起こし支援回数 29年度より景観施策に移行								
	2 歴史まちづくり法の取組に係る庁内会議及び法定協議会の開催数	回	目標	3	3	8	6	4	
実績			3	3	8	-	-		
歴史的風致維持向上計画の策定に向けた庁内会議及び法定協議会の開催数									
成果指標	1 地域住民主体の地域活性化に向けたまちづくり活動	回	目標	2	0	0	0	0	
			実績	1	0	0	-	-	
	地域住民が主体となった、まちづくり活動の開催回数 29年度より景観施策に移行								
	2 歴史的風致維持向上計画策定の進捗率	%	目標	8	19	55	75	100	
実績			8	19	35	-	-		
各年度予算額(執行額) / 全体予定額									

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	膳所地域については、膳所城築城410周年を契機として、地元の機運を盛り上げるため、地域のまちづくり活動に向けた支援を行う必要がある。また、市全域においても、歴史的風致の維持向上を図る必要がある		
これまでの見直しや改善等の経過	膳所地域の調査結果を「城下町膳所歴史にまなぶ、未来を語る」としてまとめた。また、平成30年度から令和2年度までの3ヵ年で、大津市歴史的風致維持向上計画を策定する。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	地域における歴史と伝統を反映した人々の営みと、歴史的価値の高い建造物及びその周辺の市街地とが一体となった歴史的風致を維持向上することを目的に、都市計画マスタープランのまちづくりの目標に合致した歴史的風致維持向上計画の策定に着手できている。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	歴史的資源の掘り起こしを冊子としてまとめることは、住民の歴史まちづくりへの意識の向上に繋がるものである。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	歴史的資源である地域における歴史と伝統を反映した人々の営みをもれなく掘り起こすことができるよう、市全域の歴史まちづくりに寄与する団体から意見聴取を実施できている	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	地域特性を活かしたまちづくりを進めるためには、住民が主体となって取り組むことが重要である。歴史的風致維持向上計画を策定することで、そうした住民主体の取り組みに対する支援が可能となることから、地域のまちづくりに対する機運が高まることが期待される。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	教育委員会で策定中の歴史文化基本構想と整合を図り、国からの助言を受けながら、歴史まちづくり法に基づく歴史的風致維持向上計画の策定を行う。
部局長コメント	大津市のまちづくりとして、大津市固有の歴史・文化遺産や伝統行事に息づく人々の営みを守り、それぞれの地域の歴史・文化を再発見し、更に磨きをかけ、まちの魅力を高められるといった、歴史を視点としたまちづくりを進める。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標達成率	指標1	- %	- %	- %
	指標2	100.00 %	100.00 %	63.63 %
成果増減率	指標1	- %	%	%
	指標2	- %	+137.50 %	+84.21 %
活動単位コスト	指標1	- 千円	- 千円	- 千円
	指標2	3,494 千円	2,508 千円	831 千円
成果単位コスト	指標1	- 千円	- 千円	- 千円
	指標2	1,310 千円	396 千円	190 千円
コスト増減率		- %	-69.77 %	-52.00 %

平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	407		
部 局 名	教育委員会	所 属 名	文化財保護課
事務事業名	02076 伝統的建造物群保存対策推進事業	所 属 長	山口 秀一
		記 入 者	福田 敬

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	文化財保護法・伝統的建造物群保存地区保存条例
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人々が集うまちを創り	関連する個別計画	
	政策	03	悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します		
	施策	02	湖都にふさわしい景観づくり		
	視点	01	次代に引き継ぐ景観づくり		
重事	03	伝統的建造物群保存地区の保存			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	伝統的建造物群保存対策推進事業費	
事業の概要	坂本伝建地区は、「穴太衆積み」で知られる石積みや土塀・生垣の門構えの景観にその特徴をもつ。主屋が道路から後退して建てられており、その景観は、門・石垣・土塀・生垣と塀や垣越に垣間見られる庭木や主屋が重層的に複合した外観を形成している。この景観を保全し、坂本らしいまちづくりを進める。平成9年10月31日付けで国の重要伝統的建造物群保存地区に選定。				
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()				

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	坂本地区の景観保全のために
対象 (何又は誰を)	伝統的建造物群保存地区内の建造物群等を対象に
手段 (どのようなやり方で)	補助金を交付すること等により
成果 (どのような状態にするのか)	伝統的建造物群を保全し、地域の特色ある景観を整備する。

< 3. 経費 > DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		14,202	11,497	2,172	8,061	3,000	
人件費 B		6,885	4,920	4,703	5,523	6,970	
事業費合計 A+B		21,087	16,417	6,875	13,584	9,970	
事業費の内訳	国	7,016	5,583	1,006	3,835	1,500	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
一般財源		14,071	10,834	5,869	9,749	8,470	
職員数(人)		0.85	0.60	0.65	0.75	0.85	
職員数の内訳	正規	0.85	0.60	0.55	0.65	0.85	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.10	0.10	0.00	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	保存地区内の建造物等の修理修景 (対象293件)	件	目標	3	3	3	4	2
				実績	3	2	1	-	-
伝建地区内における修理・修景事業に対して補助									
成果指標	1	修理修景事業の進捗	%	目標	28.3	29.3	30	31.4	32.4
				実績	28.3	29	29.4	-	-
	伝建地区内の対象物件に対する修理・修景済の割合								
	2				目標				
実績									

